

(別紙様式2)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名： 青森県
農業委員会名： 佐井村 農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業の概要

単位: h a

	田	畑			計
		普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	49	253			302
経営耕地面積	2	4	4		6
遊休農地面積	20	121	121	0	141
農地台帳面積	71	450	266	0	521

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
- ※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	77
自給的農家数	65
販売農家数	12
主業農家数	0
準主業農家数	5
副業的農家数	12

	農業者数(人)
農業就業者数	10
女性	6
40代以下	0

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	7
基本構想水準到達者	3
認定新規就農者	0
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※ 農業委員会調べ

※ 農林業センサスに基づいて記入。

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 令和 5 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	7	7
認定農業者	—	0
認定農業者に準ずる者	—	2
女性	—	2
40代以下	—	1
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	2	0	2

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月1日現在)	管内の農地面積 302 h a	これまでの集積面積 77.0 h a	集積率 25.5%
課 題	農家の経営規模が小さく高齢化が進み担い手の確保が難しい。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手（認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者）へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況 (②/①×100)
81.0 h a	93 h a	16 h a	114.8%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積（非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地）をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	年間を通じて村等と連携し、意欲のある新規就農者に対しパンフレットなどを活用して農地中間管理事業等の制度周知に努める。
活動実績	7月14日～15日 農地相続者にパンフレット配布 8月11日 農地相続者にパンフレット配布

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	中間管理事業の契約が8件で、利用集積の目標値を達成することができた。
活動に対する評価	制度の周知や理解を得るため、直接、対話するよう機会を作れたことは目標達成に繋がったと思われるが、目標を達成することは容易ではないので、活動を継続していくことが重要となる。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	平成30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数	令和2年度新規参入者数
	0 経営体	1 経営体	0 経営体
	平成30年度新規参入者が取得した農地面積	令和元年度新規参入者が取得した農地面積	令和2年度新規参入者が取得した農地面積
	0.0 ha	6.0 ha	0.0 ha
課題	農家の経営規模が小さく高齢化も進み担い手の確保が難しい。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和3年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況 (②/①×100)
1 経営体	0 経営体	0%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況 (④/③×100)
1.0 ha	0.0 ha	0%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	年間を通じて村等と連携し、意欲のある新規就農者に対しパンフレットなどを活用して農地中間管理事業等の制度周知に努める。
活動実績	年間を通じて新規就農者に関する農業委員からの情報収集やパンフレット等を庁舎内に備え付けするなど、就農を考えている方に情報が行き届くよう努めた。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	現状、年々増やしていくことは難しいので、活動を継続して目標がクリアできるよう掘り起こしを行う必要がある。
活動に対する評価	来庁者だけでなく、関係各所との情報共有や村内イベント等を活用するなど、幅広い情報発信・情報収集に努める。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月1日現在)	管内の農地面積 (A) 443 h a	遊休農地面積 (B) 141 h a	割合 (B/A×100) 31.8%
課 題	農地の利用状況調査の円滑な実施と遊休農地所有者への指導が必要。		

- ※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
- ※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

解消目標① 2.0 h a	解消実績② 1.1 h a	達成状況 (②/①×100) 55%
------------------	------------------	-----------------------

- ※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入
- ※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数 (実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	農地の利用状況調査	8人	7月～9月	9月～10月
	調査方法	管内全体を調査区域とし道路からの目視による巡回調査を一斉に実施、遊休化している場合は、当該農地等の状況をさらに詳しく確認し、地図等に記録する。		
	農地の利用意向調査	調査実施時期	10月	～ 11月
その他の活動				
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数 (実数) 8 人	調査実施時期 7 月 ～ 9 月	調査結果取りまとめ時期 9 月 ～ 10 月
	農地の利用意向調査	調査実施時期	10月～11月	調査結果取りまとめ時期 11 月 ～ 12 月
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条
		調査数 : 0 筆	調査数 : 0 筆	調査数 : 0 筆
		調査面積 : 0 h a	調査面積 : 0 h a	調査面積 : 0 h a
	その他の活動			

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	目標に達しなかったが、少しでも解消されたことで次年度以降に繋がる。
活動に対する評価	高齢化に伴い、新規参加者は簡単には見込めないため、引き続き、担い手の掘り起こしを行っていく。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月1日現在)	管内の農地面積 (A) 302 h a	違反転用面積 (B) 0.0 h a
課 題	高齢化が進み担い手不足などによる耕作放棄地の解消が難しく、違反転用の恐れも懸念されるため、農地パトロールを定期的実施する必要がある。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度実績

実 績①	増減 (B-①)
0.0 h a	0.0 h a

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	年間を通じて定期的にパトロールを行う。
活動実績	通年：農地巡回 9月 農地パトロール（1日）
活動に対する評価	農家への事前周知による円滑な利用状況調査や指導を行うとともに、指導の段階で遊休農地の有効利用が図られるよう徹底することが必要。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数： 4 件、うち許可 4 件及び不許可 0 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請書類の確認を行うとともに、複数の農業委員及び事務職員で現地調査並びに必要なに応じて申請者に対する聞き取りを実施している。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	関係法令・審査基準に基づき、議案ごとに審議している。			
	是正措置				
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	4	件	
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0	件	
審議結果等の公表	実施状況	議事録に記載の上、公表している。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 25 日	処理期間 (平均)	25 日
	是正措置				

2 農地転用に関する事務 (意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数： 0 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請書類の確認を行うとともに、複数の農業委員及び事務職員で現地調査並びに必要なに応じて申請者に対する聞き取りを実施している。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	関係法令・審査基準に基づき、議案ごとに審議している。			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	議事録に記載の上、公表している。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 25 日	処理期間 (平均)	25 日
	是正措置				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	0 法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	0 法人
	提出しなかった理由	
	対応方針	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	0 法人
	対応状況	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容	
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 0 件 公表時期 令和 年 月
		情報の提供方法：
	是正措置	
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 12 件 取りまとめ時期 令和 4 年 3 月
		情報の提供方法：総会議事録の縦覧
	是正措置	
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 521 ha
		データ更新：農地の利用状況調査結果、相続等の届出、農地法の許可、農用地利用集積計画に基づく利用権設定等、その他補足調査を踏まえて、随時更新。
		公表：農地情報公開システム
	是正措置	

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 〈対処内容〉
農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 〈対処内容〉

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記す

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

必要に応じて縦覧させている。

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数 0 件

提出先及び提出した意見の概要	
----------------	--

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

--